

総務市民委員会

【委員長】萩野基行 【副委員長】長谷川祐司

(当初予算6件、条例6件、その他1件)

【委員】井上 保、海野庄三、太田康彦、藤田哲哉、杉山 諭、笹川朝子

●市LINE公式アカウントの周知と内容の充実を

問 市LINE公式アカウントの登録者数はどのくらいですか。

答 3月1日現在で10万9531人、そのうちブロック数が1万1816人となっています。

要望 新年度は「広報ふじ」が月1回の発行になることもあり、市LINE公式アカウントからの情報発信の重要度が高まると考えられますので、登録者の増加に向け、より一層の周知に努めるとともに内容を充実させてください。

●被爆地広島市での研修への

中学生の派遣人数について

問 平和都市推進事業費として、平和学習事業に97万円余計上し、中学生を被爆地広島市での研修に派遣することですが、参加定員を各中学校から1人ずつ選抜し、計17人とした理由は何ですか。

答 この事業はかつて市民団体が行っていた親子広島バスツアーを市主催事業として内容を改め実施するものですが、旧事業は定員割れが続き終了していることを考慮し、少人数での実施としたものです。

●地域政策課題調査研究事業等の連携先は

問 企画調査費として、高等教育機関の誘致等検討及び大学との連携に276万円余計上し、大学等高等教育機関の専門性や知見を生かした地域政策課題調査研究事業等を行うようですが、どのような大学等との連携を想定していますか。

答 包括連携協定を結んでいる県内3大学のほか、本市の地域課題とニーズが合えば、どの大学等とも連携していきたいと考えています。

●総合運動公園野球場スコアボード改修について

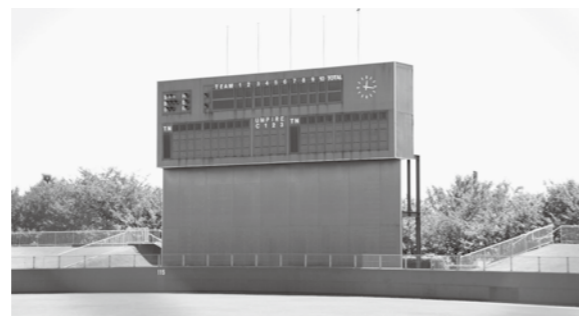
問 体育施設緊急補修事業費として、総合運動公園野球場スコアボード改修に1億2000万円計上し、老朽化したスコアボードを躯体から更新

するとのことですが、令和6年度の債務負担行為額2億2100万円と合わせた事業総額は3億4100万円にもなります。改修後のスコアボードは得点表示以外にどのような用途がありますか。

答 スコアボードは、現在の磁気反転式のものからLED式の一体型大画面へ改修します。また、ビデオカメラやパソコンにつなげることができる多機能型となるため、今後、イベント開催時には撮影した映像をリアルタイムで映し出せるほか、パブリックビューイングとしての利用や、将来的にはコンサートなどでの利用も考えられます。

問 野球場の大改修が第六次富士市総合計画の後期計画の中で検討されているようですが、野球場を改修する場合にもスコアボード自体はそのまま使用できますか。

答 メーカーからはそのまま使用できると伺っています。



▲現在の総合運動公園野球場スコアボード

●砂山公園プール運営事業者選定支援業務の内容は

問 砂山公園プール運営事業者選定支援業務は、市民サービスの向上等を目的として、事業手法についても検討することですが、具体的にはどのような内容ですか。

答 新たな運営事業者の選定に当たり、市民サービスの向上のほか、施設のより一層の活用や維持管理費の軽減を図るために、PFIや指定管理など様々な事業手法の導入等について、コンサルティング会社に支援を委託し進めるものです。令和6年度以降の対応を検討したいと考え、期間を1年間としました。

福祉保健委員会

【委員長】佐野智昭 【副委員長】望月 徹

(当初予算5件、条例3件)

【委員】稲葉寿利、荻田文仁、米山享範、井出晴美、小池義治、鈴木幸司

●パートナーシップ宣誓制度による世帯も

結婚新生活支援補助金の対象に

問 結婚新生活支援補助金の交付対象世帯の年齢を29歳以下または39歳以下と年齢で区切るのはなぜですか。また、パートナーシップ宣誓制度によりパートナーとなった世帯は対象となりますか。

答 国の地域少子化対策重点推進交付金を活用した事業であるため、国が定めた要件に従い、対象となる年齢を区分しています。また、戸籍上での婚姻が要件となっているため、パートナーシップ宣誓制度による世帯は対象外となります。

要望 国の補助事業のため、柔軟に年齢要件を変えられないことは理解しますが、結婚は何歳であっても祝福すべき事柄であり、対象者に年齢制限を設けることは疑問に感じるため、本制度を周知する際には発信の仕方に注意してください。また、パートナーシップ宣誓制度による世帯も本市独自に対象とすることを検討してください。

●ファミリーサポートセンターの

サービス提供会員の報酬増額を

問 昨年開催した議会報告会において、市民より、ファミリーサポートセンター事業の育児支援を行う提供会員の報酬が1時間当たり600円と低いことが成り手不足につながっているのではないかと意見がありましたが、サービス利用者と提供会員の需給バランスはいかがでしょうか。

答 サービス利用者と比較すると、提供会員の人数は少ないため、広報ふじへの募集記事掲載等会員確保に努めています。また、この事業は、会員の相互援助の精神に立って会員の自発的な判断により援助活動を行うものであるため、報酬となる利用料金については援助に対するお礼と考えられており、全国において同事業を行う約9割の自治体が、本市と同程度の利用料金を設定しています。

要望 昨今の物価高騰や賃上げ等の傾向や、提供会員が少ない状況を踏まえ、会員の報酬の増額を検討してください。

●子ども食堂の普及に向けて

問 令和3年度から子ども食堂開設支援補助金を計上していますが、現在はどの程度開設されていますか。また、全市的にニーズの高い事業と考えますが、今後はどのように食堂を増やしていく考えですか。

答 新年度当初に開設予定のところを含め、13か所あります。1小学校区1食堂を目標としているものの、4つの食堂が集中する地区もあります。そのため、引き続き本補助金制度の周知を行うとともに、開設を希望する方に対しては、市主催の子ども食堂の交流会に参加いただく中で、県の子ども食堂アドバイザーや既に活動している団体から助言をいただきながら、開設へつながるよう支援していきます。これらの取組を通じて、少しずつ設置箇所を増やし、目標の達成に向けて多くの小学校区に展開していきたいと考えています。



●認知症高齢者を守るため

貸与する機器の十分な確保を

問 認知症徘徊高齢者探索事業において、新年度は22台の機器貸与を見込んでいますが、徘徊してしまう認知症高齢者はどのくらいいますか。また、貸与する機器とはどのようなものですか。

答 徘徊する高齢者の数までは把握していませんが、要介護認定において、日常生活に何らかの支障を来すとされている認知症高齢者の方は、市内に7000人ほどおり、そのうちの歩行に問題がなく症状の重い方が徘徊してしまう可能性があります。現在、12台の機器を貸与しているところですが、これは対象者のかばんや衣服にGPS端末を取り付けておくことで位置情報を把握し、高齢者の早期発見につながるものです。

要望 認知症高齢者の人数と比べると機器の数が足りないと感じるので、症状が重い方に限らず、多くの方に利用してもらえるよう機器の数を確保し、認知症高齢者を守る体制を整えてください。

特集

2月定例会・陳情

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会等の中間報告

議会広報委員のページ

特集

2月定例会・陳情

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会等の中間報告

議会広報委員のページ